

子ども教育学部

Faculty of Childhood Education

教授

富田 道子 (トミタ ミチコ)

<https://ldi.tank.jp/study/>

講義紹介

生きること、いのちを守ること・・・これらが担当科目すべての土台にあります。

自由で公平、対等な関係を大切に、誰もが自分らしく安心して生きられる社会を希求する、想像力豊かな学生が増えることを願いながら授業をしています。

担当科目：初等家庭科教育法、子どもの食と栄養、ライフマネジメント 他



大学の魅力

「成功」の反対は「チャレンジしないこと」。すべてのことには意味がある。変わることを恐れない。自分の強みをみつける。本学は、学生の「一歩前へ」を応援します。先輩たちが、自分とは異なる他者の小さな声にも耳を傾け、仲間と協働して批判的思考と表現力をつけていく姿を、あなたにも間近でみてほしいと思っています。

受験生へのメッセージ

子どもたちが一人の生活者として生きていくために、いま、どのような力をつけることが大切なのでしょう。

「家庭科」や「子どもの食」を学ぶ意義、よりよい生活とはどのようなものなのか等、人の生活を家庭と社会のつながりに目を向けながら、多面的・多角的に考えていきましょう。

富田 道子

とみた みちこ

富田 道子 Michiko Tomita

子ども教育学部 子ども教育学科 教授

学歴・学位

椋山女学園大学家政学部食物学科 食物学専攻 栄養士コース卒業

東京学芸大学大学院教育学研究科 家政教育専攻 修士課程修了 教育学修士

早稲田大学大学院創造理工学研究科 経営システム工学専攻人間生活工学研究 博士課程履修生

平成 22 年 9 月～平成 23 年 8 月

同上

平成 23 年度 小松原明哲研究室フェロー

主要職歴

昭和 60 年 4 月～平成 9 年 3 月

平成 9 年 4 月～平成 11 年 3 月

平成 11 年 4 月～平成 13 年 3 月

平成 13 年 4 月～平成 14 年 3 月

平成 15 年 4 月～平成 19 年 3 月

平成 19 年 4 月～平成 22 年 8 月

平成 23 年 4 月～平成 25 年 3 月

幼き聖マリア修道会 聖カピタニオ女子高等学校 家庭科教諭

目黒学院高等学校、保善高等学校 非常勤講師

保善高等学校 専任講師

大東学園高等学校 教諭

法政大学第一中学高等学校 非常勤講師

法政大学中学高等学校（校名変更） 教諭

東京学芸大学 非常勤講師

（初等家庭科教育法、家庭科教材論Ⅰ・Ⅱ）

平成 23 年 4 月～平成 26 年 3 月

平成 24 年 4 月～平成 26 年 3 月

東洋英和女学院大学小学部 家庭科専科 非常勤講師

東京女子大学現代教養学部 非常勤講師

（健康・運動科学／性）

平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月

川村学園女子大学教育学部児童教育学科 非常勤講師

（初等家庭科教育法）

平成 26 年 4 月～平成 30 年 3 月

平成 30 年 4 月～現在に至る

広島都市学園大学子ども教育学部子ども教育学科 准教授

広島都市学園大学子ども教育学部子ども教育学科 教授

専門分野

家庭科教育学，生活科学一般（食と栄養），生活経営（ジェンダー・セクシュアリティを中心に）

主な担当科目

初等家庭科教育法，子どもの食と栄養，ライフマネジメント，ボランティア論，特別研究Ⅰ，卒業研究

研究テーマ

自立と共生をベースにした教材開発，子どもの発達と食育

ひとこと

子どもたちが生活の営みに関わる知識や技能を身につけることの大切さ，家庭とそれを取り巻く社会の関係や人間関係などを，学生とともに考えていきたいと思います。

その他（所属学会・団体）

日本家庭科教育学会，日本家政学会（生活経営学部会），日本食育学会，日本人間工学会，地域安全学会，関係性の教育学会，大学家庭科教育研究会，家庭科教育研究者連盟，“人間と性”教育研究協議会，生活やものづくりの学びネットワーク

研究活動

学術論文

- 1) 持続可能な生活経営を支える生活資源の検討：ジェンダー・セクシュアリティに着目して（単）関係性の教育学.23,159-170.2024 年 5 月 査読有
- 2) 「保育実践演習」における福祉避難所デザインの実践研究：レジリエンスの高い地域をめざして（単）広島都市学園大学子ども教育学部紀要.9(2),33-42.2023 年 3 月
- 3) コロナ禍における広島都市学園大学地域子育て支援拠点事業の役割：利用保護者への Web 調査から（第 8 回調査）（共）〔富田道子，本岡美保子，田丸尚美，加藤弘美，他 4 名〕広島都市学園大学子ども教育学部紀要.9(2),43-52.2023 年 3 月
- 4) 被服製作学習に対する意識と有用感の検討（第一報）：大学生への調査から（単）広島都市学園大学子ども教育学部紀要.9(1),21-30.2022 年 9 月
- 5) 被服製作学習に対する意識と有用感の検討（第二報）：小学校における実践研究から（共）〔佐々木和哉，富田道子〕広島都市学園大学子ども教育学部紀要.9(1),31-40.2022 年 9 月
- 6) 家庭科における主権者意識育成の可能性：UD・減災授業実践からの検討（共）〔富田道子，植田幸子，鈴木裕子〕広島都市学園大学子ども教育学部紀要.8(2),33-42.2022 年 2 月
- 7) 食行動と遊びをつなぐ食育活動の可能性：元保育園長へのインタビュー調査から（共）〔富田道子，本岡美保子〕広島都市学園大学子ども教育学部紀要.8(1),49-55.2021 年 9 月
- 8) 多様性を包摂するノルウェーの学校教育方針と理念：家庭科・家政教育の手がかりとして（共）〔富田道子，小谷教子，他 2 名〕広島都市学園大学子ども教育学部紀要.7(2),35-44.2021 年 3 月
- 9) UD 授業から減災授業へ：共生社会・持続可能な社会をめざして（単）日本家庭科教育学会関東地区会.38,2-5.2021 年 3 月
- 10) 小学校家庭科における「家族・家庭生活」についての一考察：with コロナの時代に（単）広島都市学園大学子ども教育学部紀要.7(1),53-61.2020 年 9 月

- 11) 家庭科ユニバーサルデザイン学習を活かした減災教育プランの実践（共）〔富田道子, 小谷教子, 木村玲欧, 他 2 名〕地域安全学会論文集.36,55-63.2020 年 3 月 査読有
- 12) 高校生の減災学習を支える授業デザイン：教師に対するインタビュー調査によるリフレクションを手がかりとして（共）〔富田道子, 小谷教子〕広島都市学園大学子ども教育学部紀要.6(1),17-28.2019 年 9 月
- 13) 家庭科における減災教育のこれまでとこれから：持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals: SDGs）を追い風にして（単）家庭科研究.348,12-17.2019 年 2 月
- 14) 教員養成系大学の家政教育における人権意識を高める授業デザイン：アセスメントのための指標に着目して（共）〔富田道子, 石垣和恵, 他 2 名〕広島都市学園大学子ども教育学部紀要.5(1),1-9.2018 年 7 月
- 15) 中学校, 高等学校, 大学の「共生・人の多様性理解」を促す学習についての実証的研究（共）〔小谷教子, 松岡依里子, 富田道子, 他 3 名〕敬愛大学国際研究.31,67-83.2018 年 3 月
- 16) ノルウェーの学校教育とそれを支える共生社会：インタビュー調査を中心に（共）〔富田道子, 小谷教子, 松岡依里子〕広島都市学園大学子ども教育学部紀要.4(1),11-23.2017 年 12 月
- 17) 共生・多様性の視点に立った家庭科における減災教育プログラムの開発（共）〔富田道子, 小谷教子, 他 5 名〕まちと暮らし研究.25,85-98.2017 年 6 月 査読有
- 18) 学内公募型常設オープンスペースにおける「食の講習会」の試み：親子分離型実習における参加者の意識に着目して（単）広島都市学園大学子ども教育学部紀要.2(2),31-40.2016 年 3 月
- 19) 家庭科ユニバーサルデザイン学習手引書の有効性の検討：小学校教員への試み（共）〔富田道子, 松岡依里子〕日本家庭科教育学会誌.58,100-109.2015 年 8 月 査読有
- 20) 女子学生の性意識・性行動に着目して：大学における「セクソロジー」の授業の効果（単）健康科学と人間形成.1(1),29-38.2015 年 5 月 査読有
- 21) ユニバーサルデザインに関する知識・意識と生活意識の検討：短期大学生の事例より（共）〔富田道子, 松岡依里子〕広島都市学園大学子ども教育学部紀要.2(1),61-70.2015 年 9 月
- 22) 広島都市学園大学地域子育て支援拠点事業の役割に関する一考察：利用者への質問紙調査から（単）広島都市学園大学子ども教育学部紀要.1(1),61-70.2014 年 12 月
- 23) 社会を見る目を育てる食品の選択・購入の授業：食品表示・チラシ作り（単）日本家庭科教育学会誌.56(2),99-105.2013 年 8 月 査読有
- 24) 現代社会における貧困問題に焦点化した高等学校家庭科実践の意義：格差社会における労働と福祉を中心として（共）〔中山節子, 富田道子, 藤田昌子〕日本家政学会生活経営学部会誌.48,40-50.2013 年 3 月 査読有
- 25) ビデオのジェンダーメッセージに対する高校生の受け取り方（共）〔富田道子, 大竹美登利〕日本家庭科教育学会誌.55(1),43-52.2012 年 5 月 査読有
- 26) ユニバーサルデザイン教育プログラムの開発：高等学校家庭科における試み（共）〔富田道子, 小松原明哲〕人間生活工学.13, 48-53.2012 年 3 月 査読有
- 27) 教科書をジェンダー視点で分析する（単）季刊 SEXUALITY.53,74-79.2011 年 10 月
- 28) ライフマネージメントとしての「性と生」の学習：高等学校家庭科教育の可能性（単）家庭科研究.290, 46-51.2010 年 5 月
- 29) 多様化する家族：自分らしくありのままで（単）季刊 SEXUALITY.46, 60-65.2010 年 4 月

- 30) 住教育のカリキュラム開発に関する実証的研究：家庭科の可能性をひらく授業づくりの理論と実践（共）〔妹尾理子, 富田道子, 他 3 名〕住宅総合研究財団研究論文集.36,411-422.2010 年 3 月 査読有
- 31) 社会保険の仕組みを学ぶゲームの開発とその実践（共）〔富田道子, 坪内恭子〕日本家庭科教育学会誌. 50(3),193-198.2007 年 10 月 査読有

高校教科書

- 1) 文部科学省検定教科書 Agenda 家庭基礎（共）実教出版 2021 年 3 月
- 2) 文部科学省検定教科書 新家庭基礎 21（共）実教出版 2017 年 1 月
- 3) 文部科学省検定教科書 新家庭基礎 21（共）実教出版 2013 年 1 月
- 4) 文部科学省検定教科書 新家庭基礎 21（共）実教出版 2009 年 1 月

著書

- 1) 学校福祉実践論－子どもにとってしあわせな学校をつくる多職種協働（共）〔鈴木庸裕, 朝日華子, 岩永靖, 岡部睦子, 加瀬進, 木村淳也, 齋藤一晴, 富田道子, 他 6 名〕ミネルヴァ書房 2024 年 4 月
- 2) UD 授業から減災授業へ－共生社会をめざした実践研究（共）〔富田道子, 石垣和恵, 小谷教子, 齋藤美保子, 他 4 名〕一藝社 2020 年 12 月
- 3) つぎは、おかずもつくってみよう（共）〔齊藤弘子, 富田道子, 他 11 名〕大月書店 2018 年 2 月
- 4) まずは、ごはんをみそする（共）〔齊藤弘子, 富田道子, 他 8 名〕大月書店 2017 年 9 月
- 5) 家庭科教育（共）〔大竹美登利, 中山節子, 富田道子, 他 17 名〕一藝社 2015 年 8 月
- 6) 安心して生きる・働く・学ぶ－高校家庭科からの発信（共）〔大竹美登利, 中山節子, 富田道子, 他 5 名〕開隆堂出版 2012 年 6 月
- 7) 家庭科の授業－実習ガイドブック（共）〔齊藤弘子, 富田道子, 他 30 名〕大月書店 2005 年 8 月

学会発表

- 1) 持続可能な生活経営を支える生活資源の検討:ジェンダー・セクシュアリティに着目して.第 18 回関係性の教育学会 2023 年 11 月
- 2) 生活困難な若者に向き合う定時制高校における家庭科教育の課題と展望:中国・四国地区 4 県の高等学校家庭科教員へのインタビュー調査から〔鈴木明子, 正保正恵, 今川真治, 竹下浩子, 富田道子, 森田美佐〕第 75 回日本家政学会大会 2023 年 5 月

受賞歴

- 1) 共生・多様性の視点に立った家庭科における減災教育プログラムの開発.第 8 回国際ユニヴァーサルデザイン協議会 教育部門 アワード 2017 銀賞
- 2) 共生社会の実現をめざした『人の多様性』の理解に関する授業実践－中学校における試み－.第 5 回国際ユニヴァーサルデザイン協議会 未来世代部門 アワード 2014